

55

第 二 部 建 築 學 科

第 二 部
音 阶

5.2 建築史・都市史分野

都市と建築の歴史を学び、それらが成立した社会的・文化的背景を把握することによって、歴史を学ぶことがいかに創造的な行為であるかを理解する。研究者、建築保存、建築設計、都市プランナーなどを志向。

	1年				2年				3年				4年				
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	
外国語科目	英語1 → 英語2 → 英語3 → 英語4																必修 8単位
基盤科目	数学1		エンジニアリングデザインの基礎														必修 8単位
	物理1																
	イタリア語・イタリア文化		中国語・中国文化														
	スプリングセミナー		文化と文明						技術者倫理		地理空間 分析基礎						
	基礎表現1																
	デザイン工学概論																
専門科目 導入科目	図形の技術		建築のしくみ														必修 8単位
	デザインスタジオ1(建築)		デザインスタジオ2(建築)														
専門科目 基礎科目					建築材料												必修 20単位
					部材の力学		骨組の力学										
					材料の力学												
					建築生理心理1		建築気候		施工管理		建築法規(建築)						
					構法スタジオ1		構法スタジオ2				木造建築の構法						
					建築計画1		建築計画2		建築デザイン論1		建築デザイン論2						
					デザインスタジオ3		デザインスタジオ4		デザインスタジオ5		デザインフォーラム						
							都市建築史スタジオ		フィールドワーク(建築)								
					西洋建築史		日本建築史		都市建築史								
							日本建築史実習										
専門科目 展開科目													卒業 研究1 (建築)		卒業 研究2 (建築)		必修 8単位
													卒業 制作1		卒業 制作2		
単位数合計	33				35				21				8				97

 : 学科必修科目 : 資格認定推奨科目 : 建築史・都市史分野推奨科目

* 各年次履修科目登録上限49単位以内。必修52単位のほかに、専門科目展開科目の選択28単位以上。卒業所要単位124単位以上。
また、3年から4年への進級には、3年までのすべての必修科目44単位かつ合計90単位以上の取得済みが条件。
この表は系の履修推奨科目と科目間の関係を示すものであって、卒業や資格の条件を満たすためのすべての科目は表記していない。これ以外の科目は各自よく考えて履修登録すること。

5.4 構造分野

巨大な重量に常時耐え、地震や台風などの過酷な非常時にも安全堅牢な建物を科学と技術と叡智により合理的かつ美しく設計することのできる建築構造技術者・デザイナーを目指す。

	1年				2年				3年				4年				必修
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	
外国語科目	英語1	英語2	英語3	英語4													必修 8単位
	イタリア語・イタリア文化		中国語・中国文化														
基盤科目	数学1	エンジニアリングデザインの基礎														必修 8単位	
	数学2	エンジニアリングデザインの応用															
	物理1	物理2															
	法学(日本国憲法)	文化と文明		環境とエネルギー	技術者倫理									文明と資源			
	コンピュータリテラシー																
	基礎表現1																
	スプリングセミナー																
専門科目 導入科目	デザインスタジオ1(建築)	デザインスタジオ2(建築)														必修 8単位	
	図形の技術	建築のしくみ															
専門科目 基礎科目	建築計画1		建築計画2														必修 20単位
	デザインスタジオ3		デザインスタジオ4														
	西洋建築史		日本建築史														必修 8単位
	部材の力学		骨組の力学		デザインスタジオ5	空間の構造デザイン	建物の耐力	エンジニアリングスタジオ	卒業制作1	卒業制作2							
	材料の力学				ビルディングワークショップ	木造建築の構法		卒業制作1	卒業制作2								
	建築材料				鉄筋コンクリートのデザイン	鋼のデザイン		卒業制作1	卒業制作2								
	構法スタジオ1		構法スタジオ2		マテリアルデザイン	構造計算プログラミング	建物の振動と耐震化	卒業研究1(建築)	卒業研究2(建築)								
	建築生理心理1		建築気候		建築の地盤力学												
			設備入門		施工管理	建築法規(建築)											
専門科目 展開科目																	
単位数合計	41				36				28				11				116

; 学科必修科目 ; 資格認定必須科目 ; 建築構造推奨科目

* 各年次履修科目登録上限49単位以内。必修52単位のほかに、専門科目展開科目の選択28単位以上。卒業所要単位124単位以上。
また、3年から4年への進級には、3年までのすべての必修科目44単位かつ合計90単位以上の取得済みが条件。
この表は系の履修推奨科目と科目間の関係を示すものであって、卒業や資格の条件を満たすためのすべての科目は表記していない。これ以外の科目は各自よく考えて履修登録すること。

5.5 建築構法・施工分野

建築物の構成方法について総合的な知識を有し、建築材料や施工方法の創意工夫を通して現代の社会的責任を果たすことのできる建築技術者を志向。

	1年				2年				3年				4年				必修
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	
外国語科目	英語1	英語2	英語3	英語4													必修 8単位
基盤科目	数学1		エンジニアリングデザインの基礎			技術者倫理								知的財産権			必修 8単位
	数学2																
	物理1		物理2														
	イタリア語・イタリア文化		文化と文明											文明と資源			
	スプリングセミナー																
	コンピュータリテラシー		デザイン文化論														
専門科目 導入科目	基礎表現1																必修 8単位
	デザインスタジオ1(建築)		デザインスタジオ2(建築)														
専門科目 基礎科目	図形の技術		建築のしくみ														必修 20単位
					デザインスタジオ3		デザインスタジオ4										
					建築計画1		建築計画2										
					西洋建築史		日本建築史										
					環境工学		サステナブルデザイン										
					建築生理心理1		建築気候										
							設備入門										
					構法スタジオ1		構法スタジオ2										
					建築材料												
					部材の力学												
					材料の力学		骨組の力学										
専門科目 展開科目																	必修 8単位
単位数合計	37				38				25				13				113

 : 学科必修科目
 : 資格認定推奨科目
 : 構法・施工分野推奨科目

* 各年次履修科目登録上限49単位以内。必修52単位のほかに、専門科目展開科目の選択28単位以上。卒業所要単位124単位以上。

また、3年から4年への進級には、3年までのすべての必修科目44単位かつ合計90単位以上の取得済みが条件。

この表は系の履修推奨科目と科目間の関係を示すものであって、卒業や資格の条件を満たすためのすべての科目は表記していない。これ以外の科目は各自よく考えて履修登録すること。

カリキュラムマップ

各科目が属するディプロマポリシーに○を付記しています。

			ディプロマポリシー 学位授与の方針についての目的や目標						
区分	学年	科目名	法政DP-I：人文科学、社会科学、自然科学にかかわる基礎となる幅広い知識をもって、複眼的、多面的に思考する能力を身につけている。	法政DP-II：専攻する学問分野の知識・技能をもって、他の学問分野との関連を理解しながら、それらに応用する能力を身につけている。	法政DP-III：言語・数理・情報リテラシーの能力と広い人間理解をもって、言語や文化の相違を超えて他者と意見交換する能力を身につけている。	法政DP-IV：社会が抱える新たな課題を発見し、論理的分析に基づき想起した解決の方法を、他者に説明する能力を身につけている。	法政 DP-V：主体的、自主的、能動的な態度をもち、自己の意見を形成し、発信しながら、他者と協調し、協働する姿勢を身につけている。	法政DP-VI：グローバルな視点とローカル社会の価値への深い認識のもと、多様性を尊重し、「持続可能な地球社会の構築」に寄与する姿勢と、自ら「学び続ける」態度を身につけている。	法政DP-VII：総合的に修得した知識・技能を多面的で創造的な視点と思考力をもって、積極的に社会貢献を果たし、市民社会で活躍する能力を身につけている。
外国語科目	英語	1 英語 1							○
		1 英語 2							○
		1 英語 3							○
		1 英語 4							○
		1～4 英語 1（補講）							○
		1～4 英語 2（補講）							○
		1～4 英語 3（補講）							○
		1～4 英語 4（補講）							○
		3～ 英語表現技術		○					○
	英語以外	1～ イタリア語・イタリア文化	○			○		○	○
		1～ 中国語・中国文化	○			○		○	○
		2～ 海外フィールドスクール	○			○		○	○
基盤科目	総合系	1・2・3 スプリングセミナー		○		○			○
		2・3 技術者倫理	○			○		○	
		1～ 基礎表現 1		○		○			○
		1～ 基礎表現 2		○		○			○
		1～ コンピュータリテラシー		○		○			○
		1～ スポーツ総合演習	○			○		○	
		1～ 認知科学	○			○		○	
		1～ デザイン文化論	○			○		○	
		1～ 環境とエネルギー	○			○		○	
		1～ エンジニアリングデザインの基礎						○	○
		1～ エンジニアリングデザインの応用						○	○
		1～ デザイン工学概論		○		○	○	○	○
		2～ 数理統計学		○		○		○	○
		2～ デザイン思想史概論		○		○			
		3～ 文明と資源		○		○			
		3～ マテリアルデザイン		○				○	○
	人文社会系	1～ 文化と文明	○			○		○	
		1～ 哲学	○			○		○	
		1～ 現代企業論	○			○		○	
		1～ エコノミクス	○			○		○	
		1～ 文化人類学	○			○		○	
		1～ 知的財産権	○			○		○	
		1～ マーケティング	○			○		○	
		1～ 法學概論	○					○	
		1～ 公共経営戦略				○	○		
	理工系	1・2・3 数学 1						○	○
		1・2・3 物理 1						○	○
		1～ 数学 2						○	○
		1～ 物理 2						○	○
		1～ 生態学概論						○	○
	留学生	3～ 地理空間分析基礎		○		○		○	○
		1～ 日本語 1							○
		1～ 日本語 2							○
		1～ 日本語 3							○
		1～ 日本語 4							○
		1～ 日本文化論						○	
		1～ 日本の工業技術	○			○		○	
		1～ 一般数学						○	○
	入科目	1・2・3 建築のしくみ		○		○		○	
		1・2・3 デザインスタジオ 1（建築）		○		○		○	○
		1・2・3 デザインスタジオ 2（建築）		○		○		○	○
		1～ 図形の技術		○		○		○	
		2・3 材料の力学		○		○		○	○
		2・3 部材の力学		○		○		○	○
		2・3 骨組の力学		○		○		○	○
		2・3 建築生理心理 1		○		○		○	○
		2・3 建築気候		○		○		○	○
		2・3 デザインスタジオ 3		○		○	○		○
		2・3 デザインスタジオ 4		○		○	○		○
		2・3 構法スタジオ 1		○		○	○		○

区分		学年	科目名	ディプロマポリシー 学位授与の方針についての目的や目標						
				法政DP-I：人文科学、社会科学、自然科学にかかわる基礎となる幅広い知識をもって、複眼的、多面的に思考する能力を身につけている。	法政DP-II：専攻する学問分野の知識・技能をもって、他の学問分野との関連を理解しながら、それらに応用する能力を身につけている。	法政DP-III：言語・数理・情報リテラシーの能力と広い人間理解をもって、言語や文化の相違を超えて他者と意見交換する能力を身につけている。	法政DP-IV：社会が抱える新たな課題を発見し、論理的分析に基づき想起した解決の方法を、他者に説明する能力を身につけている。	法政 DP-V：主体的、自主的、能動的な態度をもち、自己の意見を形成し、発信しながら、他者と協調し、協働する姿勢を身につけている。	法政DP-VI：グローバルな視点とローカル社会の価値への深い認識のもと、多様性を尊重し、「持続可能な地球社会の構築」に寄与する姿勢と、自ら「学び続ける」態度を身につけている。	法政DP-VII：総合的に修得した知識・技能を多面的で創造的な視点と思考力をもって、積極的に社会貢献を果たし、市民社会で活躍する能力を身につけている。
専 門 科 目	基 礎 科 目	2・3	構法スタジオ2		○	○	○	○		○
		2～	建築計画1		○	○	○	○		
		2～	建築計画2		○	○	○	○		
		2～	建築生理心理2		○	○	○	○		
		2～	西洋建築史		○	○	○	○	○	○
		2～	環境工学		○	○	○	○		
		2～	設備入門		○	○	○	○	○	○
		2～	建築材料		○	○	○	○	○	○
		2～	日本建築史		○	○	○	○		
		2～	建築の空間と形態		○	○	○	○		
		2～	サステナブルデザイン		○	○	○	○		
		2～	都市建築史スタジオ		○	○	○	○		
		2～	地図とGIS		○	○	○	○	○	○
		2～	都市・地域政策		○	○	○	○		
		2～	マテリアルサイエンス概論		○	○	○	○		
		2～	テクニカルライティング		○	○	○	○		○
		2～	医療福祉工学		○	○	○	○		
	展 開 科 目	3～	建築の地盤力学		○	○	○	○	○	○
		3～	建築デザイン論1		○	○	○	○		
		3～	空間の構造デザイン		○	○	○	○	○	○
		3～	鉄筋コンクリートのデザイン		○	○	○	○	○	○
		3～	光・視環境		○	○	○	○	○	○
		3～	設備デザイン基礎		○	○	○	○		○
		3～	施工管理		○	○	○	○		
		3～	建築デザイン論2		○	○	○	○		
		3～	デザインフォーラム		○	○	○	○		
		3～	都市建築史		○	○	○	○		
		3～	建築法規(建築)		○	○	○	○		
		3～	鋼のデザイン		○	○	○	○	○	○
		3～	建物の耐力		○	○	○	○		
		3～	木造建築の構法		○	○	○	○		○
		3～	音・振動環境		○	○	○	○	○	○
		3～	建物の振動と耐震化		○	○	○	○		○
		3～	デザインスタジオ5		○	○	○	○		○
		3～	デザインスタジオ6		○	○	○	○		○
		3～	構造計算プログラミング		○	○	○	○	○	○
		3～	フィールドワーク(建築)		○	○	○	○		○
		3～	デジタルスタジオ		○	○	○	○	○	○
		3～	環境デザインスタジオ		○	○	○	○	○	○
		3～	ビルディングワークショップ		○	○	○	○	○	○
		3～	日本建築史実習		○	○	○	○	○	○
		3～	タウンマネジメント		○	○	○	○		
		3～	公共空間デザイン及演習		○	○	○	○		
		3～	品質マネジメント		○	○	○	○		
		3～	ランドスケープデザイン		○	○	○	○		
		3～	都市デザイン		○	○	○	○		
		3～	減災工学		○	○	○	○		
		4	デザインスタジオ7		○	○	○	○		○
		4	エンジニアリングスタジオ		○	○	○	○		
		4	卒業研究1(建築)		○	○	○	○		○
		4	卒業研究2(建築)		○	○	○	○		○
		4	卒業制作1		○	○	○	○		○
		4	卒業制作2		○	○	○	○		○
特別科目	2～	Design Basics in English								○
	2～	特別講義 (Theory and Practice of Architectural Drawing)	○	○	○					